

こまつ 書館 だより

No. 24
2026年
2・3月号



小松市立図書館

小松市丸の内公園町19番地
TEL : 0761-24-5311
FAX : 0761-22-9763
MAIL : toshokan@city.komatsu.lg.jp

小松市立空とこども絵本館

小松市小馬出町10番地3
TEL : 0761-23-0033
FAX : 0761-23-5122
MAIL : bookrin@city.komatsu.lg.jp

南部図書館

小松市島町又43番地
TEL : 0761-43-1222
FAX : 0761-43-1209
MAIL : nanbu-lib@city.komatsu.lg.jp

3館共通

インスタグラム
@komatsu_library
フォローしてね★



ありがとう、移動図書館車「みどり号」

小松市内で本を積んだグリーンの車が走っているのを見かけたことがあるでしょうか？

図書館から離れた地域の方に図書館の本を利用していただくために、昭和60年から巡回を開始した移動図書館車「みどり号」。

運行開始から14年が経過した平成11年10月に、現在のグリーンの車体に更新、乗せる本の冊数を1,200冊から3,000冊に増やし、小学校や福祉施設、公民館を巡回して図書館の本を届けてきました。

足かけ40年、小松市内を走ってきた移動図書館車「みどり号」は、その役割を終え、令和8年3月で巡回を終了します。これまで「みどり号」を利用してくださった皆様、本当にありがとうございました。



ピカピカ新車の「みどり号」



学校帰りに本を選ぶ子ども達

全ての巡回が終了した後、図書館で「みどり号」の特別開放を行います。皆さま、どうぞご利用ください。

「みどり号」特別開放デーのお知らせ



みどり号の車内に入って本を借りることができます。

3月20日（金）～3月22日（日）10：00～15：00
小松市立図書館 西側玄関付近

小松文芸 第74号 発売開始

1月31日（土）～：小松市立図書館
南部図書館

2月 4日（水）～：うつのみや小松城南店
明文堂書店

小松市立図書館・南部図書館の平日の開館時間について

2月27日（金）まで10時～**18時**
3月 3日（火）から10時～**19時**
(※土日祝は9時～17時)

3月から開館時間が変わりますのでご注意ください。



2・3月 のイベント



小松文芸 第74号の受賞者のみなさん

【小松文芸賞】

一般の部：坂ノ下栄仙「福良祭り」（小説）、金戸紀美子「今一重」（隨筆）、「二木紫石展」（短歌）、沢田咲子「近詠」（川柳）

ジュニアの部：多田一輝「土の香に陽ざしを浴びて堀りしいも両手に受けて秋をたしかむ 他2首（短歌）、奥村京「田うえしてびちゃびちゃずぶずぶどろの歌」（俳句）

【奨励賞】

一般の部：大勝勝（小説）、太田要介（隨筆）、神田博行（短歌）、早瀬ふみ子、古西純子、山本聰美（俳句）、松下李恵子、松田哲夫（詩）

ジュニアの部：加藤央太（短歌）、旭隼、東杏虹、福田義浩（俳句）、加藤央太、橋場琉生（詩）

【佳作】

ジュニアの部：井出翼、神田もも、川端一尊（短歌）、北村日奈理、吉田愛理、中村颯汰（俳句）、窪田結愛、北出しづく、吉野佑（詩）

表紙絵

氏名：藏田遙

作品タイトル：「未来のページを」



展

示



リクエスト展示

小松市立図書館・南部図書館では展示テーマを募集しています。館内設置の回収箱にご意見をお寄せください。



【南部図書館】 南部中学校ポップ展 2月1日（日）～2月28日（土）

中学生ならではの視点でおすすめの本にポップを添えて図書館の本を展示します。
寒い日は家で読書はいかがですか。



2月

- 【小松】・芥川賞・直木賞の過去の作品を振り返って
・絶滅



- 【南部】・南部中学校の生徒によるポップ展
・さらりと読める短編小説（リクエスト展示）
・パンVSごはん（リクエスト展示）



3月

- 【小松】・ジャケ読みしてみませんか？
(リクエスト展示)
・支えあう「心」



- 【南部】・“つくる”って楽しいですね
(リクエスト展示)
・フルーツ大集合！(リクエスト展示)



おはなし会に参加してシールを5つ集めるとカブッキーのシールがもらえます。

【小松】 おはなし玉手箱

出演：小松おはなしの会
日時：2月14日（土）10:30～
場所：市立図書館 視聴覚室

おいしいおはなし会

出演：小松市立図書館職員
日時：2月21日（土）10:30～
場所：市立図書館
アニマルライブラリー

おはなしの扉

出演：サンタママ
日時：3月14日（土）10:30～
場所：市立図書館 視聴覚室

【南部】

拍子木カチカチなれば
楽しいおはなしのはじまり～はじまり

出演：小松紙芝居俱楽部
日時：2月22日（日）10:30～
場所：南部図書館 視聴覚室

春のおはなし会

出演：南部図書館職員
日時：3月21日（土）10:30～
場所：南部図書館 親子読書室

おはなし玉手箱

出演：小松おはなしの会
日時：3月22日（日）10:30～
場所：南部図書館 親子読書室

空とこども絵本館のページ



ぶっくりんは空とこども絵本館の愛称です。
絵本館はどなたでもご利用いただけます。
小学6年生まで保護者同伴で入館願います。

イベントは
参加費無料

この絵本どこかな？

絵本にまつわるクイズに挑戦！館内をめぐって
絵本を探して答えてみてね！
正解者にはプレゼントがあります♪

日 時: 2月14日(土)
9:00~16:00

場 所: 空とこども絵本館
対 象: 親子



親子で楽しむチェンバロ演奏会

絵本の読み聞かせとチェンバロの演奏のコラボ
です。ご家族でお楽しみください♪

日 時: 3月8日(日)
10:30~11:00

場 所: 絵本館ホール夢の本棚(京町19番地5)
対 象: 親子
定 員: 15組
(要申込、先着順、定員になり次第締切)
申 込: 2月10日(火)9:00~ 絵本館受付、電話
協 力: 小松市ピアノ協会



ボランティア募集しています

〈ボランティア内容〉

- ・「よんとよん」の読み手
 - ・「ブックスタート」の読み手、施設案内
 - ・書架整理
 - ・絵本の補修
 - ・イベントのお手伝い等
- ☆興味のある方はぜひスタッフにお気軽に
お声かけ下さい。電話でもOKです。



☆蔵書点検による休館のお知らせ☆
3月12日(木)、3月13日(金)は
蔵書点検のため休館いたします。

松居 直 ことばの花束

現在、映像に取り囲まれた生活に子どもたちはいます。一番考えてやらなきやいけないのは、「ものを自分たちの目で見る」ということ、見せられるんじゃなくて自分の目で見るということです。

そのためには、自然だと生活だと、子どもたちがどのぐらいしっかり見てるかどうか。意外に見てないんですね。

私たちの周囲に転がっているいろんな自然や生活の中に、とてもとても豊かな言葉がある。

2・3月のイベント

第1
日曜日

日曜あさのおはなし会

- ・2月1日(日) 「ネコがいっぱい」
- ・3月1日(日) 「春の色」



毎月
23日

おはなし23

毎月23日はこまつ市民読書の日

- ・2月23日(月・祝)
- ・3月22日(日)

「日曜あさのおはなし会」、「おはなし23」とともに

時 間: 10:30~10:50

場 所: 空とこども絵本館

内 容: 3歳頃から楽しめる絵本の読み聞かせなど

第3
金曜日

ぴよぴよおはなし会

- ・2月20日(金)
- ・3月20日(金・祝)

時 間: 10:30~10:50

場 所: 空とこども絵本館

定 員: 10組程度(当日先着順)

対 象: 0・1・2歳児とその保護者

内 容: わらべうたや赤ちゃん向けの

絵本の読み聞かせなど



よんとよん

お好きな絵本を2冊までお読みします。
状況によりお待ちいただく場合があります。

日 時: 2月23日(月・祝)・3月22日(日)

9:00~17:00

場 所: 空とこども絵本館

おすすめ本

毎月23日はこまつ市民読書の日です。

気になる本があればぜひお手に取ってみてください。

小松市立図書館・南部図書館のおすすめ

大人向け

『ブラザーズ・ブラジャー』

佐原ひかり/著
河出書房新社

父の再婚で、新しい母と弟と暮らすことになった高校生のちぐさ。ある時弟の晴彦がブラジャーをつけているところに遭遇してしまい…。自分の気持ちを抑えながら生きてきたちぐさが好きなものに誇りを持っている晴彦と出会い、ぶつかりながらも成長していく爽やかな青春小説です。

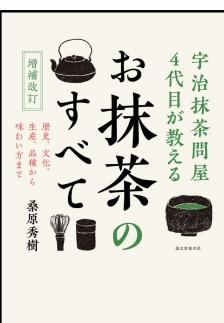


大人向け

『お抹茶のすべて 宇治抹茶問屋4代目が教える歴史、文化、生産、品種から味わい方まで』

桑原秀樹/著
誠文堂新光社

抹茶は古くから日本人に親しまれ、今では抹茶を使ったドリンクやスイーツがいろいろなところで販売されています。そして海外の方から抹茶は日本のスーパーフードとして注目されました。そんな抹茶について品種や歴史などを深く知ると、より一層抹茶の味わいも深くなることでしょう。



大人向け

『どうぶつのないしょ話』

佐々木洋/著
雷鳥社

動物の生態についてその実態を紹介しています。動物の姿かたちなどが実際とは異なる様子でイメージが浸透していることがあるようです。コアラにしっぽはある?それともない?どちらでしょう。動物をよく観察することで新たな発見が見つかるかもしれません。

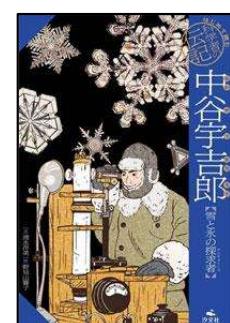


児童向け

『中谷宇吉郎 雪と氷の探求者』

清水洋美/文 野見山響子/絵
汐文社

石川県出身の科学者、中谷宇吉郎が恩師の言葉に導かれて雪や氷の研究をした生涯についてのお話です。雪が解けると水になりますが、水を冷凍庫で凍らせて雪にはならず氷になりますね。それはどうしてでしょう。知りたくなりませんか。



今月のテーマ

「今夜のお宿はどこにする?」

空と子ども絵本館のおすすめ

『おもちのおやど』

苅田澄子/作 植垣歩子/絵
Gakken

おもちのもーちゃんとちーちゃんが旅に出ました。今日のお宿は「やすらぎのおやど」。二人が泊まるのはどんなお部屋かな?昭和レトロ満載の和風旅館、それぞれのお部屋の細部まで楽しんでくださいね。

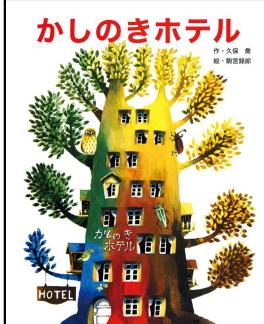


『かしのきホテル』

久保喬/作 駒宮録郎/絵
フレーベル館

かしのきホテルはどんなお客様も区別せず、泊めてくれるので。ところが、お客様のひとりがわがままを言いだして、新しいホテルへと移ってしまいます。それに続いてほかのお客も出て行ってしまいます。

硬くて丈夫な「かしの木」の大きな愛を感じる絵本です。ちなみに、空と子ども絵本館にも「かしの木」が植えられているんですよ。

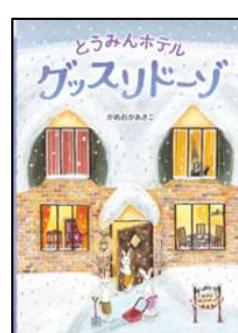


『おやどのこてんぐ』

(こどものとも2022年10月号)

朽木祥/文 ささめやゆき/絵
福音館書店

山の上に小さなお宿がありました。このお宿の座敷の襖には小天狗が描かれていたのですが、なんとこの小天狗、夜な夜な襖絵からぽん!と飛び出してきて、何やらやらかしてしまうのです…。



『とうみんホテル グッシリドーゾ』

かめおかあきこ/作
岩崎書店

秋が深まるころにオープンするこのホテル。お客様としてやってきたのは、クマ、リス、ヤマネ、アナグマ。動物たちがゆっくりと冬を過ごせるこんなホテルがあるといいですね。春を待つこれから季節にどうぞ。